

## C SSH事業（1年）

### 1 特別講演

#### 1. 1 効果的な発表について（国語分野）

##### (1) 研究開発の課題（研究概要）

1年生普通科全員を対象に、課題研究として調べた内容をレポートにしたり、論文の形式の文章にまとめさせた。また本年度より国語科の企画として、外部講師を招き、効果的な発表（プレゼンテーション）の方法について学ぶことを行った。

##### (2) 仮説（ねらい、目標）

- ア 科学的な内容を中心とした論理的文章を読解し、要約し、文章化する力を養成する。
- イ 自分の意見をまとめ、効果的に発表する力を養成する。
- ウ 他者の書いた作品を読み、相互評価することで視野を広げる。



講演中の松浦先生

##### (3) 研究の方法と内容

ア 対象生徒 1年普通科全員 322名

##### イ 日程・内容

- 一学期 1 原稿用紙の使い方
- 2 テーマ型小論文を書く①（相互評価・自己評価を含む）
- 3 課題研究の進め方

二学期 4 効果的な発表（プレゼンテーション）について

実施日時・場所 9月26日（木）、27日（金） 本校 視聴覚教室

講師 名古屋工業大学工学教育総合センター准教授 松浦 千佳子 先生

##### 実施内容

外部講師を招き、発表（プレゼンテーション）を行う上での基本的な留意点（話す時の姿勢、発声の方法、表情、内容の順序やまとめ方、資料を引用する時の注意点等）について、実習を通して学んだ。

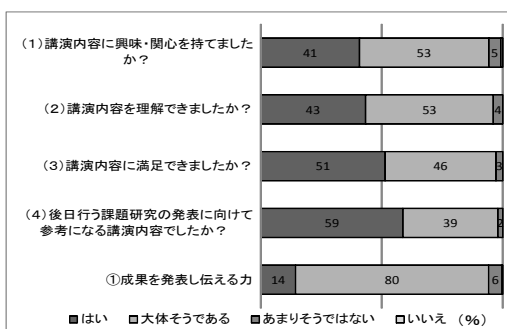
5 課題研究論文執筆

三学期 6 テーマ型小論文を書く②（相互評価・自己評価を含む）

7 課題研究発表会

ウ 実施場所 本校 各教室及び 視聴覚教室

##### (4) 検証（結果と反省）



##### 生徒感想から

- ・最初2分でさえも長いと感じたが、講師の先生の話聞いて、5分でも充分話せそうな気がした。今日聞いた話は一生使えると思うので、忘れないようにしたい。
- ・今までしっかりとした完成形が見えていなかった「発表」のイメージが固まったように思う。今日の講演内容を踏まえながら、課題研究の発表をスムーズに行いたい。

##### 今後の実施に向けて

これからの人材育成の観点から考えると、自分の考えを文章化するだけでなく、人前で効果的に話し、発表することも重要になってきている。国語の授業内でいきおい「読むこと」や「書くこと」が中心になりがちだが、今後は「話すこと」にも意識し、時間を割いていくことが大切であると考えられる。その意味で本年度より国語科の企画として外部講師を招き、効果的な発表（プレゼンテーション）の方法について学ぶことを行ったのはよかったと言える。夏休みにはレポート、冬休みには論文を執筆させたが、まだ論理的構成の面で不十分の文章が散見される。今後も論理的な構成、資料の収集方法、論文の執筆方法を指導して行く必要がある。